

競技上の注意

1. 競技は、公益財団法人 日本ソフトテニス連盟の『ソフトテニスハンドブック』により行う。
2. 選手の到着受付、団体戦のオーダー票について
第1日目 [個人戦] 午前7時45分から午前8時15分までに[到着受付]にて到着受付をすること。
第2日目 [個人戦] 出場者（ベスト16ペア）は、午前7時45分から午前8時15分までに[到着受付]にて到着受付をすること。
[団体戦] 午前10時00分から午前11時00分までに[到着受付]にて到着受付及び第1試合のオーダー票を提出すること。
第3日目 [団体戦] 午前7時45分から午前8時15分までに[到着受付]にて到着受付及び第1試合のオーダー票を提出すること。
3. 試合のコート割・進行は、プログラム進行表の通りとする。ただし、進行状況及び気象状況等により変更する場合がある。
4. 原則として、マッチ前の選手の呼び出しは行わないので、進行に注意し、次のマッチの選手は選手招集所で名前確認を行う。その後、試合コート付近で待機していること。
5. 個人戦／団体戦の準決勝／決勝は、アンパイヤーの誘導で入退場する。
6. 試合球は、全試合「スリクソンボール」とする。
7. 個人戦／団体戦のベンチの選択について
少ない番号が個人戦／団体戦ともに中央通路側とする。
前庭球場は、少ない番号が中央本部側とする。
8. 出場登録選手・監督の変更は、大会当日の受付時までに理由を付した変更届けが提出された選手・監督のみ認める。以後の変更は認めない。
9. オーダー票には、氏名（フリガナ）を書き、対戦前にオーダー受付に提出すること。
（対戦同士のオーダー交換は、行わない）
10. 応援について
プレーの妨げになるような大声、大騒ぎをしないこと。
監督・選手・応援者は、ルール（マナーを含む）を遵守し、マッチ中の進行の妨げにならないよう応援等を行うこと。また、著しくマナーに反する場合は退場させることがある。
11. コート主任席は、各コートの中央通路側に設置する。

【個人戦について】

1. 試合は、トーナメント戦で行う。マッチは全て7ゲームとする。
2. 第1日目の審判は、敗者審判とする。ただし、各コートの第1試合は、選手審判(本部指名)とする。第2日目の審判は、本部審判とする。
3. アンパイヤーに対する質問は、プレーヤーだけができる。
4. サービス（レシーブ）とサイドの決定は、マッチ時に試合コートで行う。
5. 勝者は、採点票をコート主任席に持参し、勝者確認を受けること。
6. ベンチコーチは、1名認める。審判資格を有する者が望ましい。
7. 対戦相手との試合終了挨拶後、速やかにコートから退出すること。

【団体戦について】

1. 試合は、予選リーグと決勝トーナメントにより行う。
2. 予選リーグのマッチは5ゲーム、決勝トーナメントのマッチは7ゲームとする。
3. 予選リーグは3ペアの対戦を行うが、決勝トーナメントは2点先取制とする。
4. 予選リーグの審判は、同一リーグ内の試合を行っていないチームが行う。
決勝トーナメントの審判は、本部審判とする。
5. サービス（レシーブ）とサイドの決定は、マッチ時に試合コートで行う。
6. 勝者チームの監督は、採点票をコート主任席に持参し、勝者確認を受けること。
7. オーダー票提出は、各都道府県とともに第1試合分は到着時に到着受付とともにオーダー受付に提出する。以後、対戦終了後、速やかに次の対戦のオーダー票を提出すること。
8. アンパイヤーに対する質問は、監督又はそのプレイヤーだけができる。
9. 対戦中、監督・選手は指定されたベンチに座って待機していること。
10. 対戦前の挨拶終了後は、速やかに第1マッチを開始すること。